



# 家に帰ったらしっかり手洗い！ 手足口病

令和5年10月18日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和5年第41週分・10月9日～10月15日)

### 《インフォメーション》

#### ●手足口病

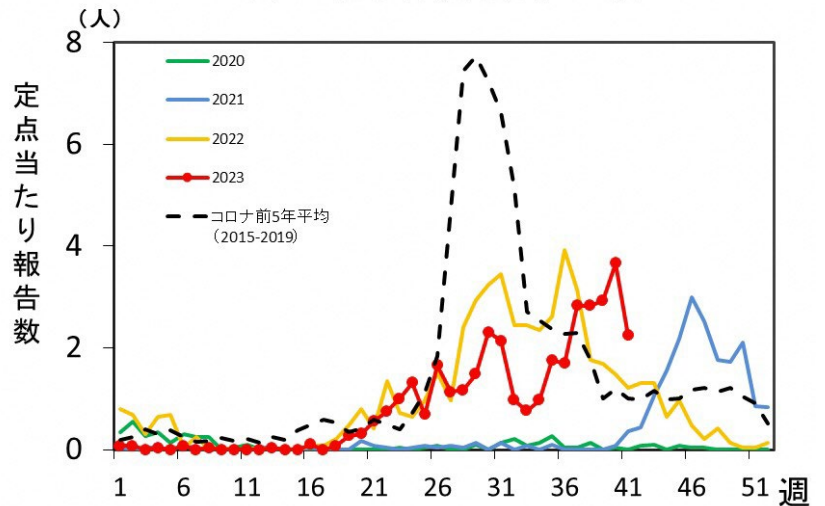
手足口病は、一般に夏季に増加し、例年7月下旬頃(28～30週)に流行のピークを迎える傾向があります。しかし、県内では2020年には流行は認められず、2021～2022年には例年とは異なるピーク時期の小規模な流行が起きました(右図)。今年は8月下旬から増加傾向を示しました。今週の定点医療機関あたりの手足口病の報告数は2.24人であり先週より減少しました。今後の動向に注視していく必要があります。

手足口病は、コクサッキーウイルス(CA6、CA16)やエンテロウイルス(EV71)

など複数のウイルスを原因とする感染症です。患者の年齢は、1歳が半数近くを占め、5歳以下が全体の9割以上となっています。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹がみられます。発熱や食欲不振、のどの痛みなどがみられますが、一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。まれに髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症がみられる場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣(けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。現時点で手足口病のワクチンや抗ウイルス薬はありません。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。症状がなくなった後も、2～4週間は便からウイルスが検出されることがあります。次のことに注意して感染を予防しましょう。

手足口病患者報告数(富山県)



- ▶ おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石鹸で手を洗う。
- ▶ 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- ▶ タオル等の消毒には、アルコールは効きにくいいため希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

### 《全数報告の感染症》

四類感染症 レジオネラ症 1件(50歳代、男性、肺炎型)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	COVID-19	4.38(↓)	5.67
2位	感染性胃腸炎	3.10(↓)	3.48
3位	インフルエンザ	2.54(↑)	2.21
4位	手足口病	2.24(↓)	3.66
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.17(↓)	2.72
6位	咽頭結膜熱	1.62(↑)	1.52



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第41週 令和5年10月9日～令和5年10月15日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核						5	6	24	5	57	97	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症						1		3	3	13	20	
	四類感染症	オウム病								1			1	
		日本紅斑熱										1	1	
		レジオネラ症			1			1	4	1	14	1	11	31
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
		ウイルス性肝炎									1			1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									11	2	11	24
		急性脳炎									1		2	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	5	12
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	7	11
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	5	1	11	19
		水痘（入院例）								1		1	4	6
		梅毒									2	1	14	17
		播種性クリプトコックス症							1					1
破傷風										1			1	
百日咳												4	4	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	8	4	51	23	36	122	849	1,409	3,550	1,193	4,843	11,844
		COVID-19（※1）	1.14	0.80	3.92	3.29	2.25	2.54	1,662	1,059	3,000	1,458	2,756	9,935
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	2			2	1	5	75	120	648	259	586	1,688
		咽頭結膜熱	1	1	33		12	47	70	53	358	45	210	736
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4		18	4	37	63	77	27	1,036	18	847	2,005
		感染性胃腸炎	16	12	8	7	47	90	810	775	1,348	927	4,540	8,400
		水痘			2			2	4	21	37	6	57	125
		手足口病	6	9	22	11	17	65	49	91	400	192	309	1,041
		伝染性紅斑							1		2		6	9
		突発性発しん	1	1	2	2	2	8	15	29	103	29	79	255
		ヘルパンギーナ	2	3	9		6	20	115	136	809	104	558	1,722
		流行性耳下腺炎				1		1	1	2	9	3	14	29
	眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			1			1	4	2	29		8	43
					0.50			0.14						
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1	1	2
		マイコプラズマ肺炎									7			7
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1		1	2			3		2	5
		COVID-19による入院患者（※3）	1	7	1	3	5	17	6	19	5	12	43	85

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。  
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

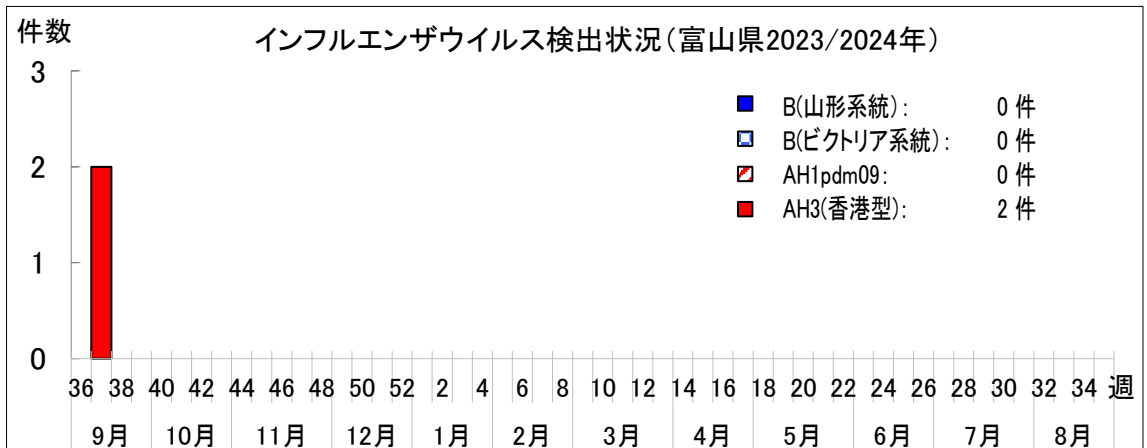
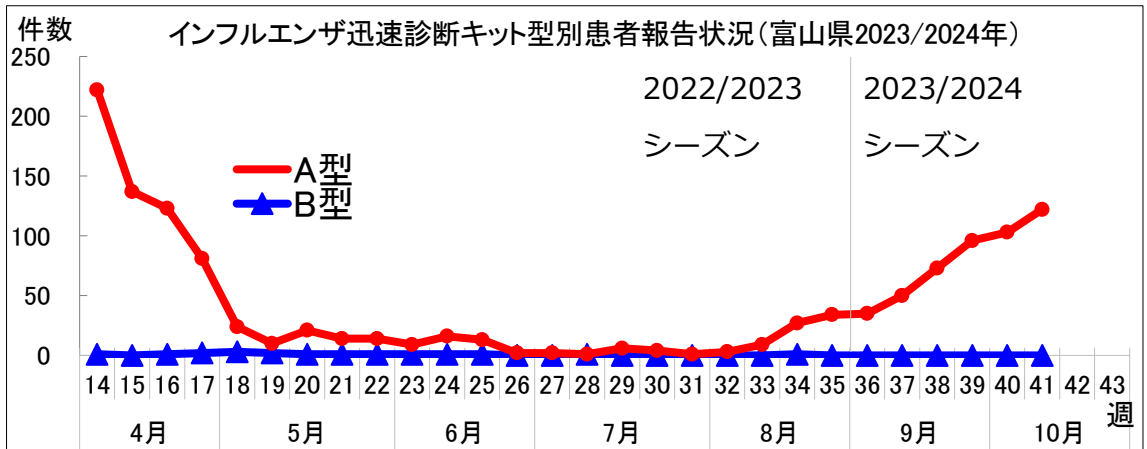
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が100.0%となっています。

### 第41週(10/9~10/15)：富山県 2.54人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	8	0	0	8
中部	2 / 5	4	0	0	4
高岡	10 / 13	51	0	0	51
砺波	6 / 7	23	0	0	23
富山市	12 / 16	36	0	0	36
富山県	34 / 48 <sup>※1</sup>	122	0	0	122
富山県累計(2023年36週~)		479	0	7	486

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が34か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





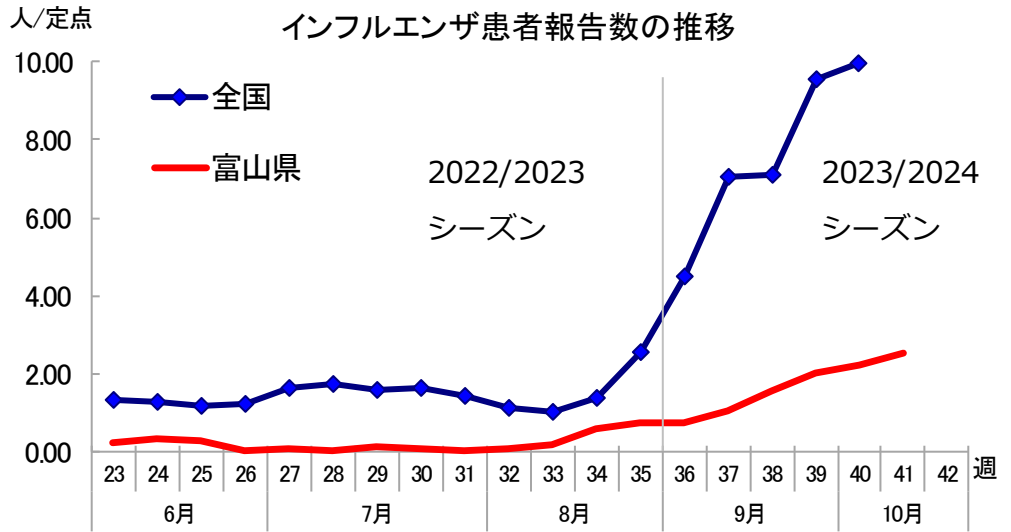
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 41 週 (10/9~10/15) : 富山県 2.54 人/定点

新川 HC (1.14)、中部 HC (0.80)、高岡 HC (3.92)、砺波 HC (3.29)、富山市 HC (2.25)

全国のインフルエンザ患者報告数は、第 35 週以降急増し、第 40 週では 9.99 人/定点の報告がありました。

県内の患者報告数は 2.54 人/定点となり、緩やかな増加が継続しています。

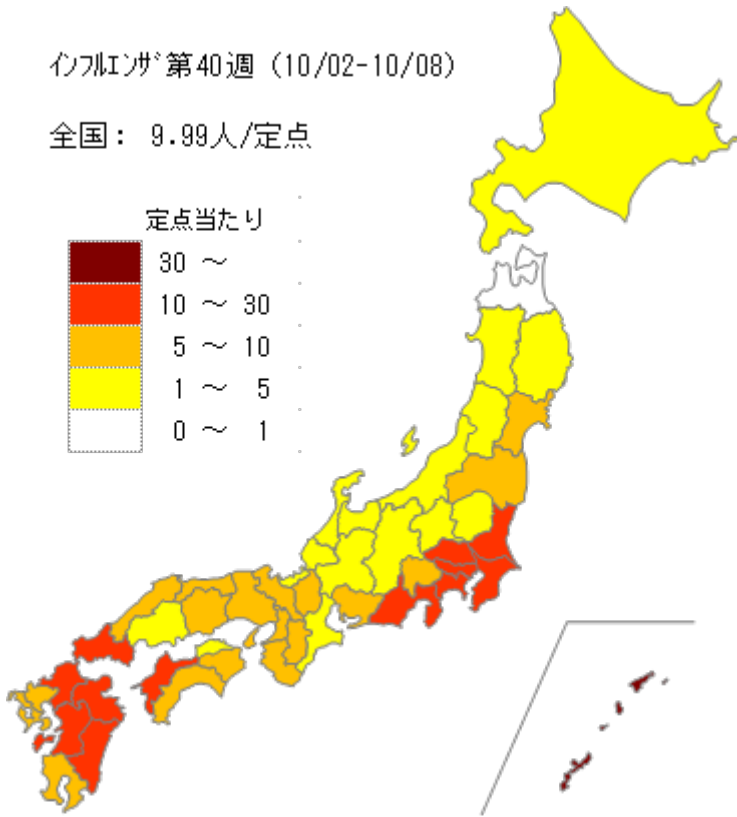


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 40 週 (10/2~10/8)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 9.99 人となり、前週の 9.57 人より増加しました。29 道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第 40 週 (10/02-10/08)

全国：9.99 人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	3.78 ↑	滋賀県	6.41 ↑
青森県	0.78 ↑	京都府	7.17 ↑
岩手県	1.02 ↑	大阪府	7.13 ↑
宮城県	5.95 ↑	兵庫県	9.56 ↓
秋田県	1.63 ↑	奈良県	6.22 ↓
山形県	2.45 ↑	和歌山県	5.80 ↑
福島県	7.71 ↑	鳥取県	7.24 ↑
茨城県	11.11 ↓	島根県	6.66 ↑
栃木県	3.62 ↓	岡山県	5.63 ↑
群馬県	4.24 ↑	広島県	4.32 ↑
埼玉県	16.14 ↑	山口県	19.22 ↓
千葉県	21.08 ↑	徳島県	8.43 ↓
東京都	16.44 ↓	香川県	2.94 ↓
神奈川県	15.84 ↑	愛媛県	16.69 ↑
新潟県	4.42 ↑	高知県	5.86 ↑
富山県	2.21 ↑	福岡県	11.40 ↓
石川県	2.02 ↓	佐賀県	8.31 ↓
福井県	1.05 ↑	長崎県	8.09 ↓
山梨県	9.85 ↑	熊本県	12.46 ↓
長野県	5.00 ↑	大分県	18.00 ↓
岐阜県	4.53 ↑	宮崎県	14.19 ↓
静岡県	10.08 ↑	鹿児島県	6.86 ↓
愛知県	9.43 ↓	沖縄県	30.85 ↑
三重県	3.90 ↓	全国	9.99 ↑

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年9月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			8		10	18		5	21		77	103
				2.67		2.50	1.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症				2	3	5	1	7	2	4	39	53
					2.00	0.75	0.50						
	尖圭コンジローマ			2	1	1	4			4	8	6	18
				0.67	1.00	0.25	0.40						
	淋菌感染症			1		2	3	1	1	2		20	24
				0.33		0.50	0.30						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	1	3	1	10	17	19	10	14	7	110	160
		2.00	1.00	3.00	1.00	10.00	3.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					2	2			3		9	12
						2.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。